

～まちづくり活動を応援します！～

# みんなで作る、まちの未来



市内各地区では、まちづくり推進会議（会）や連合町内会、生涯学習推進会など、さまざまな団体による主体的なまちづくり活動が活発に行われています。

でも、活発な活動を未来に向かって続けていくには、少し不安な点も…。今回は、そんなまちづくり活動を取り巻く「今」と「未来」について、まちづくり活動を応援するキャラクター「チカラコブタ」くんが紹介します！

みんなで作るまちづくりをモリモリ応援するコブ！



まちづくり活動応援キャラクター「チカラコブタ」くん

やっぱりみんなの力が大事コブね！



人口減少社会を迎える中、元気なコミュニティ活動が続けていくためには、あらゆる世代の人たちが、地区のことに関心を持ち、「みんなで決めよう！」「みんなで動こう！」と、行動していくことが重要です。地域のために活動する人同士がつながっていくことで、まちの力は強くなります。

まちづくり活動は、「参加」と「協働」の場が大事と言われています。「参加」の場は、その地区に住む多くの住民がかかわり、話し合いの中でのめごとを決めていく場のことで、「協働」の場は、多くの住民・団体がそれぞれの長所を生かし、連携・協力して決められたものごとを進める場のことです。

## 参加と協働の場が大事

## まちづくりの課題

富士市のまちづくり活動は、さまざまな地区団体を中心に、活発に行われています。しかし、少子高齢化・人口減少社会の到来や、ライフスタイルの多様化などさまざまな社会背景により発生した課題が、地域コミュニティの活動に影響を及ぼすことが心配されています。

また、実際に活動に携わる役員の皆様からも、「役員のなり手などの人材不足」「活動のマンネリ感」「団体運営への戸惑い」といった課題が挙げられています。



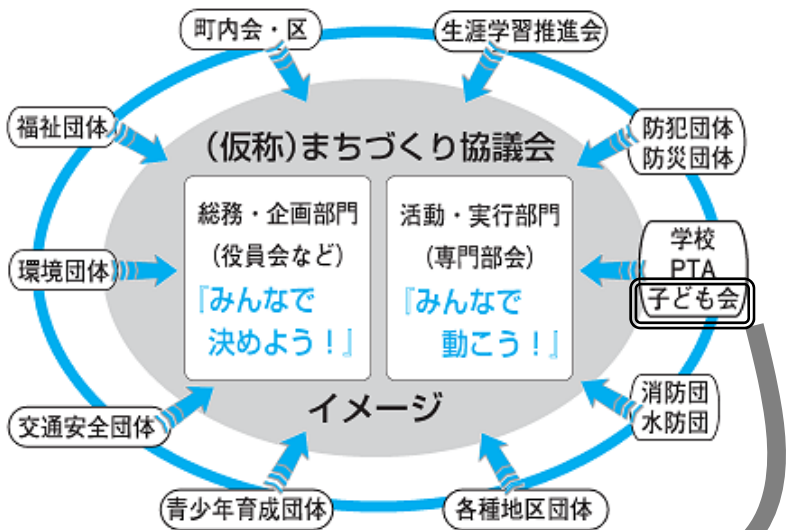
ちょっぴり気がかり…

## 新しいまちづくりのかたち

現在、各地区のまちづくりでは、地区内の町内会長さんの集まりである連合町内（区）会と、体育祭や文化祭などを行う生涯学習推進会などの各種団体が活動しています。それらの団体の連携の場としてまちづくり推進会議（会）があり、地区の祭りなどのイベントを行ったり、地区で抱える課題の解決策などを検討したりしています。

### ●団体内のつながりをさらに強めるかたち

市は、未来に向けて、主体的で活発なまちづくり活動を元気に続けられるように、昨年3月に「地域の力こぶ増進計画」を策定しました。この計画の一環として、市内の各地区では、まちづくり推進会議（会）から、団体同士の横のつながりをさらに強めていくための場を設けた「（仮称）まちづくり協議会」へ発展していくための話し合いが行われています。



子ども会 → ジュニアリーダー → シニアリーダー

地域の力こぶアップ!



子ども会の活発な活動は、ジュニアリーダー、シニアリーダーの育成につながり、地区まちづくり活動を支える貴重な人材(人財)を生み出し続けています。

